

ほくは、子供なりに考えて一番にしたいことは「遊び」だと思いました。なので中心に公園をつくることで、ただ遊ぶだけでなく、市全体の人と同じ公園で遊ぶことができるようになり、より市民とのつながりがもてるのでは、と思いこのように企画しました。

公園

- この市は6つのグループに分かれています。①のところ。また、グループとグループの間には学校やスーパーなど、生活に必要な施設や店が並んでいます。もちろん、グループの中に店もつくります。
- そして、この市の中心には、見てわかるように大きな公園があります。震災によって友達がちがう地域にひなんしてしまって遊ぶ相手がいないうちに、市の子供たちが、同じつの公園で遊ぶことで友達も増えるのではないかと考えられています。
- また、何年もあとにまた大きな震災があったときには、中心の公園に避難します。公園には、仮設テントや、非常食などが用意されているので、何も持たずにも早く避難できるのです。

遊んで遊ぶ

笑顔でつながる

街づくり



さらに、公園は少し高いところにあるので、津波が来ても大丈夫です。

- ① 市民が住む場所です。なぜ、全ての家が横方向になっているかというと、津波が横がくると考えられているからです。波の抵抗を少しでも減らす工夫です。
- ② 学校やスーパー、工場などがあります。

- ③ 公園です。遊ぶ時だけでなく、震災が起こった時にも活躍します。公園右上にあるのは仮設トイレ用マンホールです。マンホールのうらにある倉庫には仮設テント、トイレ、非常食などがあります。
- ④ 池です。右下のボート乗り場で手こぎボートに乗れます。春は、ボートから桜が見れます。とてもきれいですよ！
- ⑤ バーベキュー広場です。親子で楽しめます。
- ⑥ 季節ごとの色あざやかな花が見れる花壇です。
- ⑦ 花火の広場です。夏は公園やボートの上で花火が見れます。ふたんは自由に使えます。
- ⑧ 桜並木です。春はここで花見ができますよ。